

自民清風会

大幅な事業廃止・補助金削減となった
特集◆令和7年度予算に賛成した背景

実質的な歳入減少時代の到来

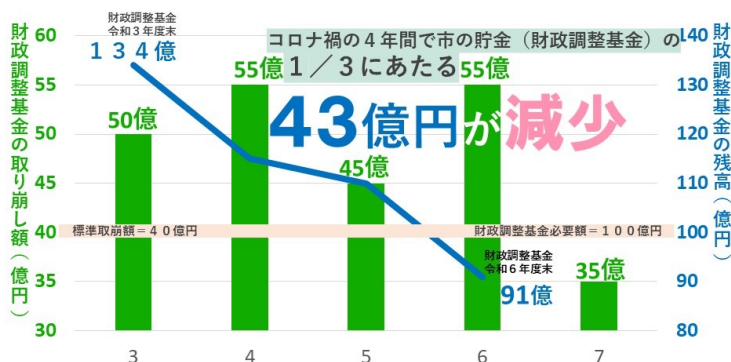
収入	支出
市税全体で 30億円の増収	民生費で 76億円の支出増

民生費…子育て、社会福祉、高齢者福祉などへの支出が増え、
日本も本格的な福祉国家になりました。

今なら
間に合う

この先も民生費は増え続ける
将来にわたって行政を運営できる
持続可能な都市になろう

市の貯金 財政調整基金の危機



コロナ禍の4年間で、財政調整基金は3割減少し、
7年度予算では6年度（55億）より20億円少ない
35億円を財政調整基金から繰入れることとしました。
入るお金が減り、出るお金が大変に増えていく。
その上貯金額が減ってきている。
このままでは財政が本当に危機的状況に陥ってしまう。
そんな大変厳しい財政状況での予算編成となりました。

依存財源を確保する～国県支出金

市民の皆さんが納めた国税、県税を
岡崎市政にしっかり還元しました。

国庫支出金	57億円増	26.8%
県支出金	13億円増	13.5%
財政調整基金からの繰入れ		
貯金の取崩し	20億円減	36%



HIGAOKA 2030
2030年「ひがおか」変わります。
「まちと人がつながるおもてなしの玄関口」を目指し
東岡崎駅のリニューアルを行います。

「それゆけ「ひがおか」」

「ひがおか」は東岡崎駅周辺の整備で、
今後、駅ビルの建て替えなど、東岡崎駅が本格的に生まれ変わります。
東岡崎駅周辺は、これまで少子化が進んでいましたが、
東岡崎駅周辺のまちづくり（HIGAOKA）を推進しています。

東岡崎駅周辺整備 0564・23・6452

Instagramアカウント「HIGAOKA_2030」で東岡崎駅周辺地区の整備状況を発信しています。

改札の橋上化

改札が、全て駅舎の屋根の下にあり、
雨風が吹き飛ばされず、安全で快適な駅になります。

自由通路を整備

駅周辺に「自由通路」を整備し、
駅周辺とのつながりを強化します。

北口駅ビル

北口駅ビルは、
「東岡崎駅ビル」の2階部分を、
駅ビルとして活用します。

広場を整備

駅周辺に「広場」を整備し、
市民の憩いの場として活用します。

SWING MALL（南口駅ビル）

南口駅ビルは、
駅ビルとして活用します。

2030年 完成予定（東岡崎駅）

2028年度 橋上駅舎
2027年度 自由通路
2024年度 SWING MALL完成
2023年度 北口駅ビル完成

コロナが収束し、世の中が動き出しています。
物価が上昇し、人件費は上がり、市民生活に
直結する福祉的予算である民生費の上昇は今後
ますます懸念されるところです。

こうした義務的経費の上昇を念頭に入ると、
財政を健全化するためには、何より収入を増やす
方策に注力していかなければなりません。

着手済みの4つの大型事業、阿知和地区工業
団地造成事業、東部のアウトレットを核とした
まちづくり事業、東岡崎駅第2期整備事業、南
公園整備事業を、まず完成させること。

「もっと稼げる岡崎市」にすること。

大型事業だけでなく、あらゆる場面で税収が
上げられる仕組みを作り上げ、停滞してしまっ
た岡崎市を再び活性化する必要があります。

高福祉のためにはしっかりと経済を回さなけ
ればならない。

福祉を充実するために、我々は数字から目を背
けてはならない。

7年度予算は、岡崎市の未来を決める大きな
分岐点となる。自民清風会はそんな信念で議決
をさせていただきました。

杉浦ひさなお通信



岡崎市議会議員

杉浦ひさなお

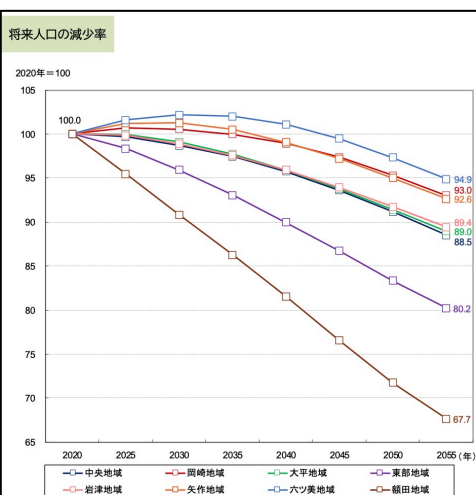


令和 7 年度の予算編成は大変厳しいものになりました。これはここ数年の歳出の増加により財政調整基金残高が大きく減少したため、昨年の夏には 7 年度の予算編成方針として公に示されており、秋の市長交代が要因ではありません。今回、様々な補助の削減や制度の廃止などが行われましたが、こうした状況に至ったことに議員として責任を痛感しております。

一方、あたかも市長交代によってこうなったかのような風説は、実情を知らないのか、曲解しているのかわかりませんが、私も説明を尽くさせていただきますので、皆さまにはご理解いただきますようお願いいたします。

南部学校給食センターについて

令和 7 年度の予算編成では、多くの補助金や制度の縮小などが行われましたが、中でも老朽化した岡崎市南部学校給食センターの移転整備事業が予算付けされず、残念ながら中断となりました。昨年度の時点では令和 9 年度 2 学期の開業が予定されていたものです。アレルギー対応食提供ができない状況が永続化されるなど、岡崎市南部の小中学校に通う児童、生徒の食の安全に関わる新センターの整備が滞ることは、本来あってはならないことだと考えております。厳しい予算状況とともに、将来人口推計の見直しも要因と説明されていますが、岡崎市南部地域は、見直された人口推計でも将来の減少幅が最も少ないような地域であり、また、国の学校給食無償化の議論や、愛知県の公立高校への給食の試験導入などの方向性も踏まえ、あらためて整備事業が進捗するよう、しっかりと提言して行きたいと考えております。



【業務の概要】

南部学校給食センターは建設から40年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、中之郷町に新たな学校給食センターを整備することで、児童生徒に安全安心な学校給食を提供します。



【令和6年度の主な業務内容】
・整備事業者選定及び契約締結
・道路詳細設計
・既設水道管撤去

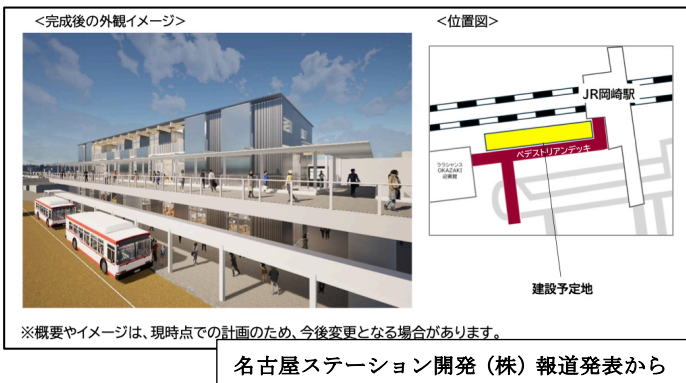
【整備スケジュール】

令和6年度
整備事業者選定・契約締結
道路詳細設計
道路用地取得
令和7年度
給食センター設計・建設工事
道路整備工事
令和8年度
給食センター建設工事(継続)
道路整備工事(継続)
令和9年度
給食センター竣工
供用開始予定(2学期)

令和 6 年度予算概要から

JR 岡崎駅、市南部地域について

岡崎駅西口では昨年 7 月に「駅西小町」がグランドオープンしましたが、ロータリーでのバス、タクシー



乗降時に雨よけとなるシェルター設置工事が本年度から行われていきます。また東口では、来年春の開業を目指し、ペDESTリアンデッキにつながる複合施設が整備されます。テナントとして、飲食、物販、医療等が予定されるとのことで、さらなる賑わいが期待されます。

六ツ美南部の商業開発もお待たせしましたが、進みつつありますので、よろしくお願いいたします。

ご意見、ご質問募集 市政に関する事、身近な問題等お気軽にご連絡ください。
杉浦ひさなお後援会新事務所 岡崎市 中島中町 4 丁目 3-2 2
FAX 74-1396 携帯 090-1145-2817 URL <http://cas07770.wixsite.com/home> →



後援会公式 LINE

